茨城県龍ケ崎市の新たな挑戦【スポーツクライミングのまち龍ケ崎】



＜目標＞　　計画期間：～令和１２年３月３１日

「スポーツクライミング」を通して生まれる多様なつながりや、市民参画によってシビックプライドや活力が醸成される好循環が生まれ、新たな地域の魅力として市の持続的な発展につなげていきます。

- 「スポーツクライミングのまち龍ケ崎」の参画意欲向上
- サブアリーナウォール利用者の増加
- 大会・イベントの開催

＜ＰＲポイント＞

トップクライマーゆかりのまち

本市出身在住で東京2020オリンピック銅メダリストの野口啓代さんを中心としたトップクライマーが集う他にはない優位性に着目、「スポーツクライミング」を基点としたまちづくり

スポーツクライミングを通した交流人口の拡大

大会や体験会を通して、競技の魅力を発信するとともに全国から交流人口を誘引

RYUGASAKI CITY OF SPORT CLIMBING

スポーツクライミングのまち龍ケ崎

＜現状・課題＞

若者の「転出抑制」や「定住促進」が全国の多くの自治体で喫緊の課題となっている中、龍ケ崎市においては、国選択・県指定無形民俗文化財「撞舞」や、市商工会女性部の有志の方々が始めたまいんコロッケをきっかけにご当地メシ決定戦で日本一に輝いた「龍ケ崎コロッケ」など、地域資源を活用した取組を行っているが、龍ケ崎市が選ばれるまちとして、主に若年層への訴求力のある新たな魅力づくりが必要である。

＜総合的な取組内容＞

にぎわい創出



市と野口啓代さんが共催で開催している「AKIYO's DREAM with RYUGASAKI」は、全国のみならず海外からも選手が出場し、大会賛同社の協賛による豪華な演出のもと、「スポーツクライミングのまち龍ケ崎」を最も象徴するイベント。

教育・学習



プロモーション



産業振興



環境整備

持続可能な事業展開のための資金調達、競技環境の充実、外部人材を活用する。

競技者支援

競技段階の層に応じた支援に関するニーズに基づき、支援制度を展開する。

スポーツクライミングが地域の魅力となり、誇りと活力にあふれるまち龍ケ崎へ

【フォローアップ欄】令和８年度以降における計画の進捗状況

＜継続的な取組を確保できる体制（図）＞

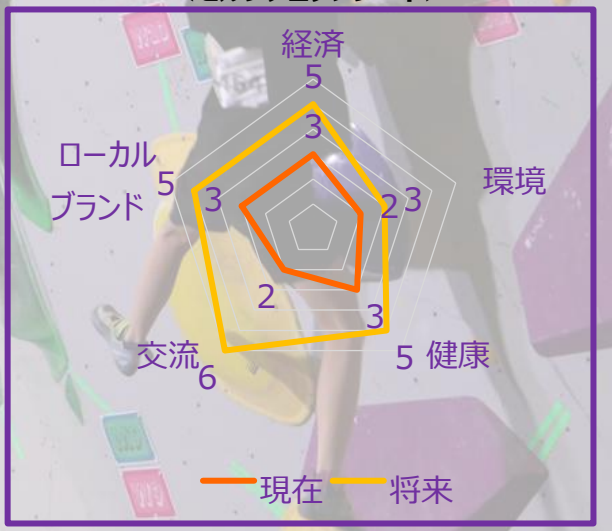
多様なステークホルダーが相互に連携し、「スポーツクライミング」を基点とした地方創生に取り組む。



商工会、観光物産協会、青年会議所、大学、金融機関、鉄道会社、商業施設、学校長会、総合型地域スポーツクラブ、指定管理者etc

- 野口啓代さん（オリンピックメダリスト）
- 槍崎智亜さん（オリンピアン）
- 地域おこし協力隊
- 山岳連盟

＜セルフチェックシート＞



問合せ先・電話番号

茨城県龍ケ崎市健康スポーツ部
スポーツ推進課　0297-64-1111